

令和5年
9月
21号

自立からの風 だより

発行
障害者支援施設 自立生活訓練センター
兵庫県神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727 FAX 078-925-9229

ごあいさつ

自立生活訓練センター

次長 飯塚 哲也



みなさま、残暑厳しい中ですが、いかがお過ごしでしょうか。最近の季節は春夏秋冬をゆっくり感じることなく、次の季節へ向かっているように感じます。以前と比べ、暑さ、気温、雨の降り方など気候も大きく変化し、大災害に直面することも多くなりました。温暖化の影響でしょうか。気象庁の検討会が「異常気象」と指摘したこの夏、日本の平均気温は平年と比べて1.76度高く、気象庁が統計を取り始めてからの125年間で最も高くなったようです。日本近海の海面水温も過去最高となり、地上も海も最も暑い夏だったことがデータから裏付けられたと新聞記事に掲載されていました。

そんな中でも、少しずつ次の季節へ変化していることを毎朝感じていきます。日課である柴犬の散歩で、田畑の間を通りながら、少しひんやりした空気を吸い、稲穂が垂れる様子や虫の音を聞くと、少しずつ秋へ向かっていることがわかります。犬も同様です。暑さに弱いため、気温が下がることで少しずつ動きも軽快になってきています。人も動物も暑さに耐えるのも、もう少しの辛抱です。

自立生活訓練センター利用者のみなさまは、多くの方が復職、復学、新規就労、家庭復帰などを目指して、日々訓練に励んでいます。コロナ禍でリモートワークが進んだとは言え、復職や新規就労を希望される方は、まだまだ会社等へ出社することが求められます。暑くても、寒くても、風が強くても、雨が降っても通勤することが必要です。ほとんどの会社は復職条件として家族の送迎ではなく、一人で通勤できることを求めています。

利用者のみなさまは、病気、怪我によって長い間入院生活を送られ、温度が一定の条件で空調管理されている中で過ごし、自立生活訓練センターの利用となりました。病院と違い体育館や屋外の教習コースなど高温多湿の状況下で体育訓練を実施し、通勤や仕事を想定した歩行練習や車椅子操作練習などを行っています。まさしく社会復帰に向けた「順応」が重要です。入所時より退所時、状態が良くなり笑顔で退所されることを職員一同願っています。



訓練プログラム ～追加・再開プログラム～

立位トレーニングA・B

立位トレーニングというプログラムはありましたが、5月からAとBの2グループに分けて実施しています。

A:片麻痺の利用者を対象にバランス能力や体力の向上を目的に床からの立ち座りや段差練習などを実施してます。

B:独歩が可能な利用者を対象にバランス能力や心肺機能の向上を目的にジャンプや走る、球技などを実施してます。



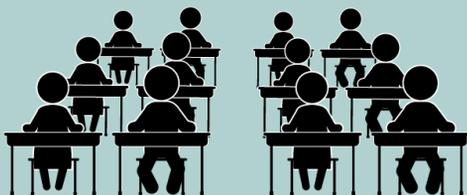
朝礼・自立の会全体集会

新型コロナウイルスも厚生労働省にて第5類感染症に分類されるようになり、世の中もコロナ前のような日常に戻りつつあります。

当センターもコロナ前まで行われていた、朝礼と自立の会全体集会が食堂にて実施再開となりました。

朝礼:今まで放送で連絡していた連絡事項に加え、職員・利用者からのテーマ発表が行われています。普段では見ることのできない一面を見せてくれる利用者もおり、驚くことも多く、身近でコミュニケーションを取れる場面となっています。

自立の会全体集会:利用者が主体となった委員会を形成し、利用者からの声について話し合う場となっております。少しでも入所生活が有意義になるよう支援員も努めております。



社会生活カプログラム(前期) =所外訓練=

前期・後期で行われているプログラムです。(6月8日～8月24日)

参加人数は5人程度で、実際に利用者同士で行きたい場所を設定し、日程を決定スケジュールを立てて実行する。といった流れで所外訓練を実施しております。

Aグループ: 所外訓練を2回計画・実施を行いました。

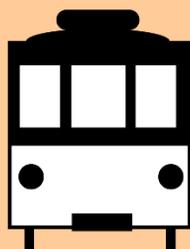
1回目～少年科学博物館内のプラネタリウム～

障害者手帳を使用して半額で博物館の入館が可能です。昼食のIKEAではルートが決まっており、施設内を散策するのに、とても時間がかかりました(； ；)



2回目～ジェノバラインを使って淡路島へ～

船を利用して淡路島に行くのが初体験の人もありました。車いす用スペースや身障者用トイレもあり船での移動が数十分しかないのが、とてももったいないくらい楽しかったです。



Bグループ: 計画を慎重にたてて姫路にってきました。

美術館とJAZZ喫茶店に行くことを目標に計画し実施しました。

姫路に到着後は多くのバス停があり、目的地に着くバス停を探すのに苦戦(； ；)でも、美術館に到着後は、ゆったりとした空間で車いすでも見て回ることができ、とても楽しかったです。

イレギュラーな出来事が起こっても柔軟に対応できるように、事前準備が大切であることを学びました。



セラピスト集団訓練

毎月1回、セラピストが主催している、集団訓練があります。
今年度はお花見から始まり、立位耐久走、車いす耐久走、伝える方法を考えよう、床からの立ち上がりを開催しました。まだまだ、たくさんの集団訓練を考えています。
いつもとは違った訓練を実施し、日頃の成果や様々な経験をしてもらい有意義な訓練生活を送って頂けたらなと考えております。



スポーツ大会

今年度もやってきました!! 障害者スポーツ大会に参加して参りました。
5月21日(日)にフライングディスク大会、6月4日(日)に陸上大会が開催されました。

フライングディスクでは午前はアキュラシー、午後はディスタンスの種目で競い合い
どちらの部でも入賞を飾ることができました(^^) /

陸上大会では50m走や100m走、200m走だけではなく、砲丸投げやソフトボール
投げといった投げる競技にも参加しました。全員が入賞することができました。

日頃の訓練で培った成果が発揮できた日となりました!おめでとうございます!!



新任・異動・復帰 職員紹介

今年度から新任・異動された職員の皆さんです。
これからもよろしくお願いします！

障害者支援施設 三木精愛園より、4月に転入してきました。総合リハビリテーションセンターでの勤務は5年半振りですが、新しい部署で、学ぶことの多い日々を過ごしています。微力ではありますが、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



支援員
宮城 佳代子



支援員
横山 和輝

今年度の4月より三木市にある三木精愛園から異動してきました。支援員の横山です。今までは知的障害者分野で働いてきました。社会復帰という関わったことのない分野で、右も左も分からず日々多くを学び、自分の支援の仕方について反省することが続いています。不安な事もありますが、利用者様の社会復帰に向けて、より良い支援をしていけるよう頑張ります。よろしくお願いします。



支援員
佐野 日香

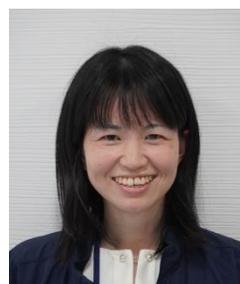
4月より自立生活訓練部訓練課に配属になりました、支援員の佐野日香です。福祉の現場は初めてで分からないことも多く、不安が大きかったですが、その分学びもあると感じています。現在は利用者の方が社会復帰に向けて訓練されている姿を見て、少しでも力になれるよう頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。



理学療法士
水口 淳

今年度4月よりリハビリテーション中央病院から異動してまいりました、理学療法士の水口です。新しい環境で慣れない事もありますが、病院で培った技術や経験を活かして、利用者皆様のお力になれるように精一杯頑張ります。これからどうぞよろしくお願いたします。

この4月から産休・育休明けで勤務しております。利用者の皆さまの健康を食事・栄養面からサポートできるよう努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。



管理栄養士
本田 彩奈



舎監
橋本 孝義

3月末より、舎監として採用され、勤務させていただいています。橋本孝義と申します。昨年3月に損害保険会社を再雇用後に退職しました。前職では交通事故でおけがされた方（障害を負われた方）への損害賠償を中心とした保険金の支払い業務を担当していました。介護・福祉関係は無知無資格ですが、前職とは違った側面から少しでも皆さんの社会復帰のお手伝いできればと思っています。よろしくお願いたします。

編集後記

今年度も半分が終わり、暑い夏も過ぎようとしています。コロナも5類となり、プログラムの中で所外にいける機会が増えました。一步一步自立への道を歩んでおりますので、私共も日々精進して参ります。

理学療法士 梅沢 亜矢

施設のご利用について

随時
ご相談・ご見学対応しております。

下記まで
お問い合わせください

TEL 078-927-2727

FAX 078-925-9229

Web <https://hwc.or.jp/jiritsu/>